

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『税の架け橋』

町田市立鶴川中学校 3学年 松崎 柚月

「ゴミが捨てられない」母と祖母の会話の中に突然聞こえたこの言葉に、私は違和感を覚えました。ゴミが捨てられない？一体どういうこと？不思議に思い、二人の会話に耳をすましてみることにしました。

祖母の住む地域は比較的高齢者世帯が多く、空き家も数多く存在しています。そんな中、近所に住む高齢者夫婦が身体を壊して階段の登り降りが困難になってしまったことで、外へのゴミ出しができなくなっていました。そしてその話を耳にした祖父母が毎日ゴミ出しを変わりにやってあげるようになったそうです。地域の人同士で助け合っていて、素敵だな、と心から感じました。しかしその高齢者を助けているのも同じ高齢者であり、続けるのにも限界はあります。そのため色々と調べた結果、地域のゴミ出し支援サービスにお願いすることになりました。

ゴミ出し支援サービスとは特に高齢者や障害者など、自らゴミ出しをすることが困難な方のために、自治体が手伝ってくれるというものでした。このようなサービスがあることを私は今まで知りませんでした。着替えや買い物、ゴミ出しなど今まで当たり前でできた

ことが突然できなくなり、困っている人がいる、しかしそのような方にも快適な生活が出来るように支えてくれるサービスがあるのだと、母と祖母との会話から知ることができました。

そこで私もこのサービスについて調べてみると、これらの支援の多くは税金によって賄われているのだということがわかりました。ゴミ出し支援以外にも多くのことが税金によって支えられていて、私たち利用者は安心して暮らせているのだということも知ることができました。家の近くに子供たちが楽しく、安全に遊べる公園が当たり前にあることも、学校で教科書が無償で提供されることも、すべて税金によって賄われていました。税金によって支えられている制度は本当にたくさんあってとても驚きました。私はまだ税金を納める立場ではなく、税金を納めることの大変さもきちんと理解することはできないけれど、いつか私が税を納める立場になった時は「税金は人と人を支え合うための仕組み」であることをしっかりと理解し、積極的に税を納めるようにしたいです。また、税という日本人の仕組みが「支え合う」という力を持っていることを誇りに思い、税についての正しい知識と感謝を持ち続けていきたいです。

私は将来、世界の人と関わりをもてるような仕事につきたいと思っています。国境を超えて助け合える税金のように私もいつか、国境を超えて目立たなくても誰かを支えてあげられるような人になりたいです。